

平成27年度災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例4 熊野市(大島谷) 溪流部

危険木等除去体積 68m³
調整伐面積 5.33ha



整備前



整備後

溪流部



整備前



整備後

山腹部



整備前



整備後

平成27年度災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例5 紀宝町(大地山) 溪流部

危険木等除去体積 321m³
調整伐面積 3.36ha



整備前



整備後

溪岸部



整備前



整備後

山腹部



整備前



整備後

効果検証にかかる調査・研究(林業研究所)

①溪流部:不安定流木等の除去 →危険因子除去

②溪岸部:調整伐の実施、伐採木の区域外搬出
→大径木の育成(根系抵抗力の向上、成長促進)

③山腹部:調整伐の実施、伐採木の横並べ
→大径木の育成(根系抵抗力の向上、成長促進)
→下層植生の侵入促進(表土流出抑制)
→伐採木を利用した土砂止めの設置(表土流出抑制)

表土流出抑制効果を検証するために

実施項目1:斜面からの土砂流亡量を継続測定し、土砂流出抑止効果を把握



伐倒木を利用した土砂止の設置

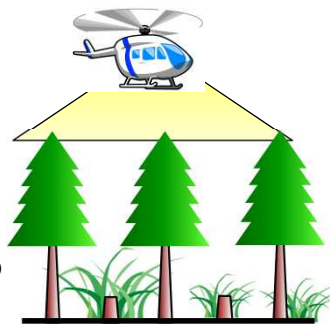
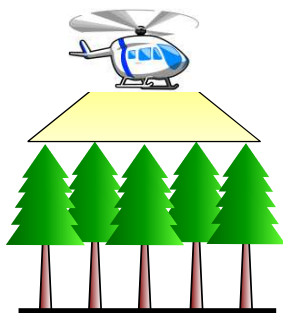


土砂受け箱を設置し、土砂流出量を継続調査

H26～
大学との
共同研究

成長促進効果を検証するために

実施項目2:航空レーザー測量により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



調整伐等実施後の
状況変化を調査

H26～
大学との
共同研究

根系抵抗力がどの程度あるのか検証するために

実施項目3:立木引き倒しによる抵抗力調査を実施し、流木等に対する流下緩衝効果を把握



H27～